

\*1201100594236\*

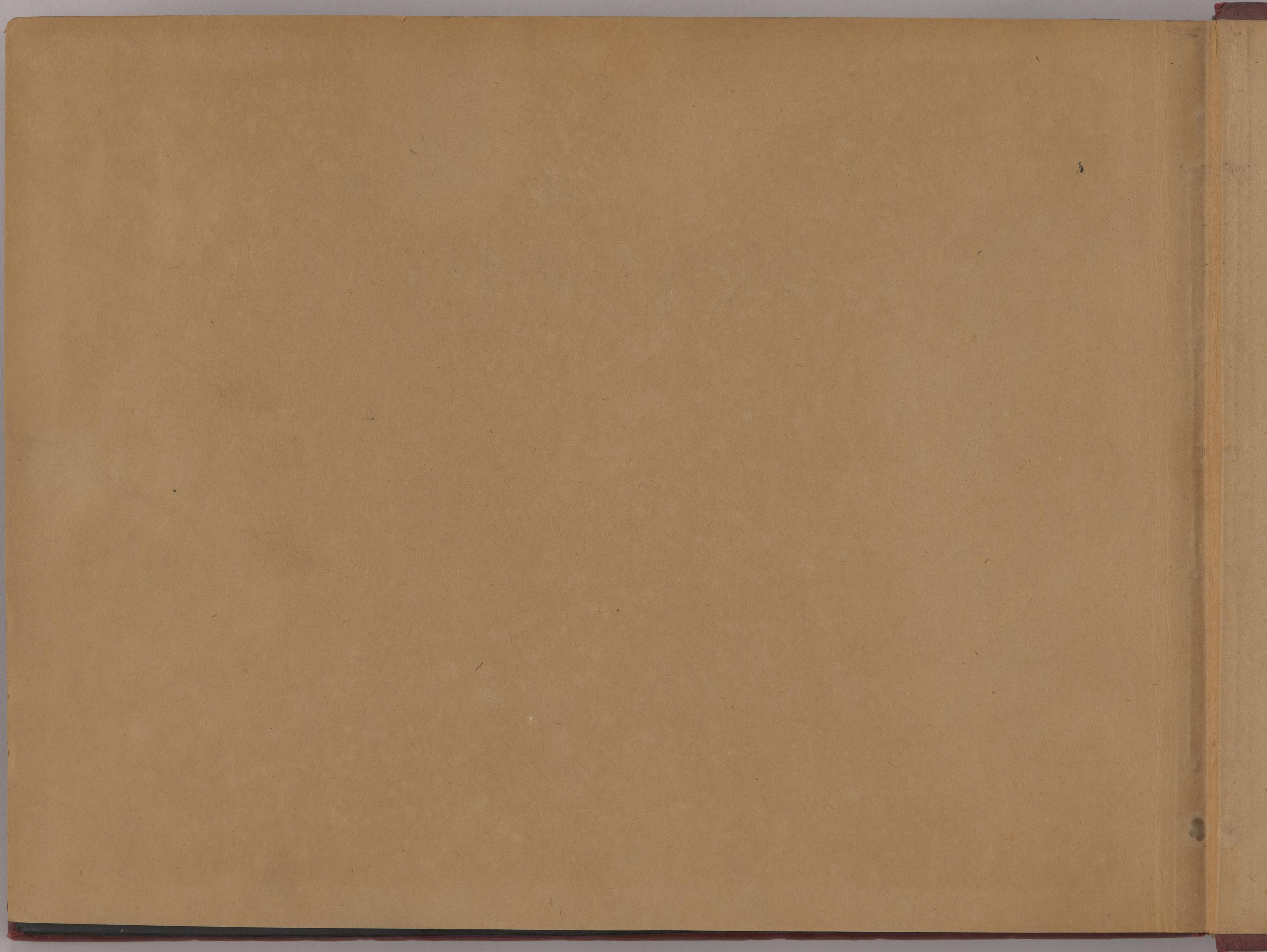


禁電子式複写

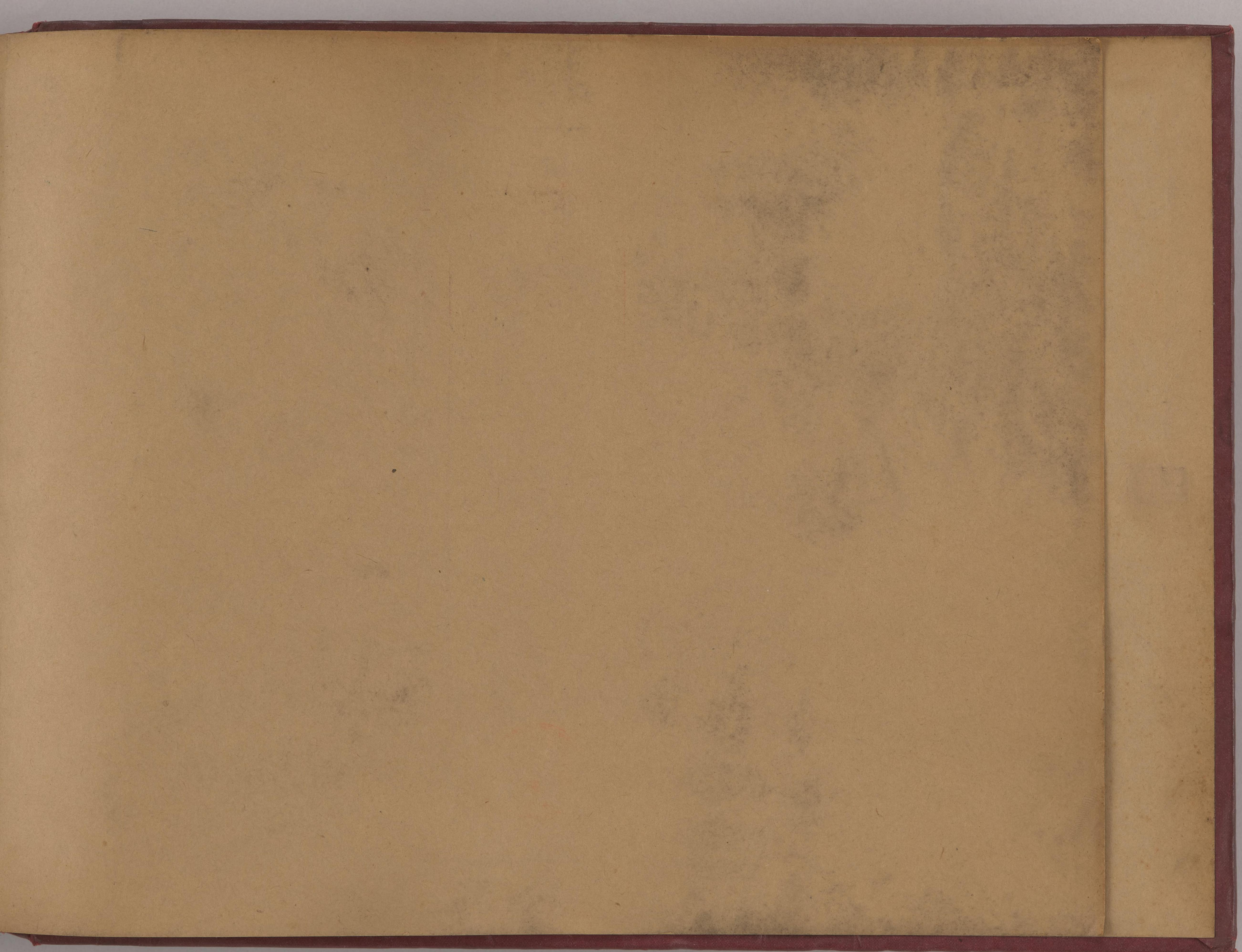














新聞聯合

寫真二五ノ又

昭和八年九月

品目換





聯合 寫眞 第二一六號 九月一日

◎想起す十一時五十八分

十年前の今月今日

大正十二年九月一日十一時五十八分、關東未曾有の大震災の日だ、帝都の大半は焦土と化し幾萬の人命は亡はれた。今年に正にその十周年に相當する、この日彼服履跡に於ける震災記念堂では早朝より參拜者引きも切らず定刻神式佛式に依つて舉式首相始め閣僚、府知事、市長等の參拜あり相當賑ひを呈した寫眞は

一賑ふ參拜者







◎震災十周年 (四)

！東京の心臓銀座！

過ぎ越し方を振りかへれば決して永くない十年、この十年間に東京は變つた、銀座は變つた、百の流行はこゝを發祥の地として脈々と新鮮な血液を街々に送る、東京の心臓！それは銀座だ。かの一日、焦土と化した銀座街頭に立つて東すれば筑波を、西すれば富士嶺<sup>の</sup>を仰いだこの麩野原が十年後の今日、萬華鏡の如く輝く帝都を代表するギンザであらうとは。寫眞は

一、デパート松坂屋屋上より京橋方面を望む







◎凱旋將軍軍狀奏上

松木中將始め十氏に賜謁

關東軍の部隊長として新興滿洲國建設に赫々たる武功を樹て、凱旋した松木直亮、鈴木美通兩中將、橋本虎之助、服部兵次郎兩少將は二日天皇陛下に晴れの軍狀奏上を行ひ元關東軍經理部長佐野會輔主計總監を始め谷口元治郎少將及齋藤彌平太、横山眞、篠原次郎、黒田重徳各大佐も賜謁の光榮に浴した、この日十氏は何れも通常禮裝で日に焼けた面を輝やかし一旦參謀本部に集合、午前十時三十分同所を出て同十時五十二分東京驛發電車で同十一時五十一分逗子驛着直に宮内省差廻しの四臺の自動車に分乘葉山御用邸に伺候した

寫眞は

第一號

九月二日

一、參謀本部玄關に於ける一行（前列向つて

左から一橋本少將、鈴木中將、佐野主計

總寫、服部少將

十氏に賜謁







聯合 寫眞 第五號 九月二日

◎震災十周年（一五）

一 東北の關門上野驛

音樂と美術の山、千年の昔の古美術より、  
シユール・レアリスムに至る凡そ歴史的  
變轉を包容する上野の杜、博物館、美術學校  
展覽會、そして又多くの天才を育む音樂學校  
晚鐘の颯々と響く寛永寺。これが昔も今も  
變らぬ上野の姿だつた。震災後の上野の街は  
東北の關門を挽し一日十萬の人を吞吐する上  
野驛の素晴しさ、車坂、三輪、千住へ掛けて  
の發展振り、近くは上野銀座とも稱すべき廣  
小路の殷賑、燃え盛る大紅蓮を上野の杜の高  
臺から眺めた人々の感慨こそ……。

寫眞は

一 上野驛方面を望む（松坂屋上野店屋上に







聯合 寫眞 第一號 八年九月三日

◎震災十周年Ⅰ（完）

●夜のない街「新宿」Ⅰ

クロード氏のネオン・ガス發見に依つて、この八十年來、ネオンライトの使用による街頭の照明に素晴らしい革命が來た、銀座に於ける夫れは延長三百マイル、「山の手銀座」の稱ある新宿の光力に於いては共に世界一を誇るに足る、焼残りの街、シネマ、ダンス・ホール、遊廊、飲食店、カフェ、喫茶、その悉がネオンだ、そしてデヤズだ、東京市内故十の驛々の乗降客一日八十万人の一〇パーセント以上を動かしてゐる新宿驛、バスの氾濫、夜店一夜のない街「新宿」のめまぐるしさⅠ

寫眞は

一、新宿のカフェー街

………

（震災十周年を期とする新東京風景の紹介はこれを以て打切ります）







聯合 寫眞 第二號 九月三日

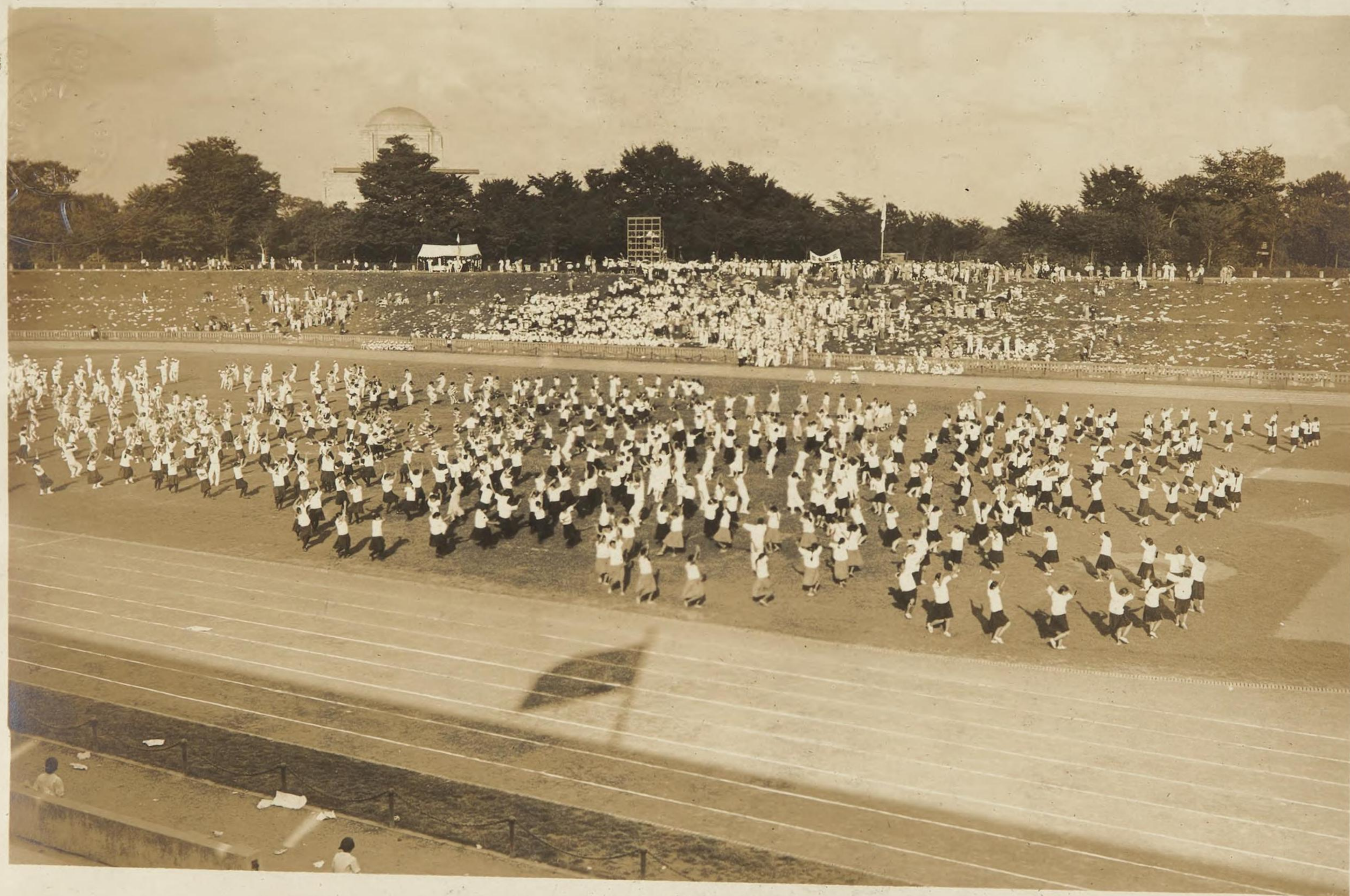
◎工場大衆一万人

晴れの体育大會

ハンマーの騒音に或は紡績機の響きの裡に終  
日する工場従業員は東京府工場法適用にある  
ものだけで九千八百工場、十八万六千余名に  
上り其他を合すると三十万人の多數に上るが  
打ち續く不況に苦闘を續くるものが少なく無  
く、内務省社會局、警視廳工場課では之等工  
場従業員の保健のため昨年末より工場体育に  
付いて各工場主と協力して講演、其他に依つ  
て獎勵して居たが三日第一日曜日の公休を期  
して神宮競技場で大々的工場員陸上競技大會  
を開催した

寫眞は







聯合 寫眞 第一號

九月四日

◎開局近き中央郵便局

一名實共に東洋一

昭和六年工を起して以來三年、東京驛前に聳ゆる白亜の中央郵便局は已に全く工成り今秋十月を期して開局さるゝことになつた。諸設備に於て正に東洋一と稱すべく延面積一萬千餘坪、總地下室、地上五階の豪壯なものである。建築費は基礎工事百十餘萬圓、建築工費三百萬圓、電気、瓦斯十七萬圓、暖房換氣十三萬圓、搬送設備三十四萬圓其他合計五百十餘萬圓の巨費を投じた

寫眞は

一、開局近き中央郵便局（丸ビルより撮影）







聯合 寫眞 第二號

九月四日

◎世界少年展覽會へ出品の

一 全國兒童作品展觀一

來る二十七日よりカナダ、トロント市に開催  
の第三十二回世界少年展覽會よりの依頼に依  
り帝國兒童教育會で蒐集した全國兒童作品並  
に参考品等は來る七日出帆の郵船氷川丸で發  
送さるゝことゝなつたので四日午後一時より  
四時まで牛込の同會で一般の觀覽に供した

寫眞は

一、カナダへ出品の兒童作品展觀







聯合

寫眞 第一號

九月五日

◎首相の凱旋將軍歡迎會

一 閣院元帥宮殿下台臨

齋藤首相は赫々たる武功を樹て、凱旋し軍狀奏上を終へた松木直亮、鈴木美通兩中將、橋本虎之助、服部兵次郎兩少將並に佐野會輔主計總監、齋藤彌平太、篠原次郎兩大佐を主賓として五日正午首相官邸に招待歡迎午會を催ふし特に閣院參謀次長、古莊第一部長以下各部長、荒木陸相、柳川次官、山岡軍務局長、林教育總監その他並に主人側より各閣僚堀切書記官長、兼崎法制局長等出席首の歡迎挨拶に對し松木將軍の謝辭があつた

寫眞は

一 首相官邸の歡迎會（中央閣院參謀總長自）







聯合 寫眞 第二號 八年九月五日

◎白鳥公使近く赴任

外務省情報部長として縦横に快腕を振つた  
白鳥敏夫氏は瑞典公使に榮轉十五日頃東京  
出發赴任の途に上ることになつた、霞ヶ關  
の智囊と誦はれた氏が花々しき外交舞臺に  
晴れの公使として打つて出たに對し内外共  
に非常な期待を掛けられてゐる  
寫眞は

一 近く赴任の白鳥公使（於青山自邸）







聯合 海外寫真 ニューズ

第二九六六號

九月六日

◎ マルチン・ルター四百五十年祭

（アイスレーベン＝ドイツ）發聯合 不可解  
な迄にその絶對的な暴君的な權威を振り廻し  
た舊教の支配した歐洲の中世時代に敢然神聖  
な教會の根本的改革の大旗を掲げ破門、宗  
教裁判の極刑を退けあくまで人間的キリスト  
教の樹立に献身し終に今日の新教の基礎を作  
り上げたマルチン・ルターの生誕四百五十  
年祭 がその郷里アイスレーベンに於て種々  
な催し物等、景氣よく盛大に行はれた  
寫真は

アイスレーベンの市役所廣場にあるルター  
像前の四百五十年祭とナチス黨員と握手  
するその日の呼びもの中世の騎士







聯合 寫眞 第二號

九月六日

◎お伽の小父さ

巖谷小波氏の装儀

お伽の小父さん巖谷小波氏の葬儀は六日午後  
零時半から青山會館でキリスト教式の下に行  
はれた。式場には故人生前の多趣味な生活を  
物語る諸方面からの花環盛花がならべられ江  
見水蔭、久留島武彦氏等の友人、嗣子三一氏  
以下令息令嬢等参列、大下牧師司式の下に式  
は始められ三時から一般の告別式に移つた

寫眞は

一、小波小父さんの葬儀







聯合 運動寫眞ニュース 九月七日

◎車輪つきスキー

（ベルリン）發聯合

冬のシーズンを持ち切れなないスキー狂の爲に最近當地で車輪つきスキーと云ふのが發賣されスキーヤーを喜ばしてゐる、

寫眞の様にスキーの底部に輪がつけられてあり道さへ良ければ眞夏でも眞物のスキーと同じ気分が味はれるといふ、狂的スキーヤーには此の上ない福音で當地では此のスキーで既に大會まで行はれたといふ有様です、近頃流行のサンド・スキー（砂丘を滑るスキー）よりはウント手輕ですから今に我國でも流行するでせう

寫眞は

一、ベルリンで流行の車輪つきスキー





一  
本  
目  
ニ  
テ  
行  
の  
車  
輪  
つ  
き  
ス  
キ  
ー









二七三三三新名所の一築地本願寺の大伽藍



聯合 海外寫眞ニュース 第二九六九號  
二九七〇號

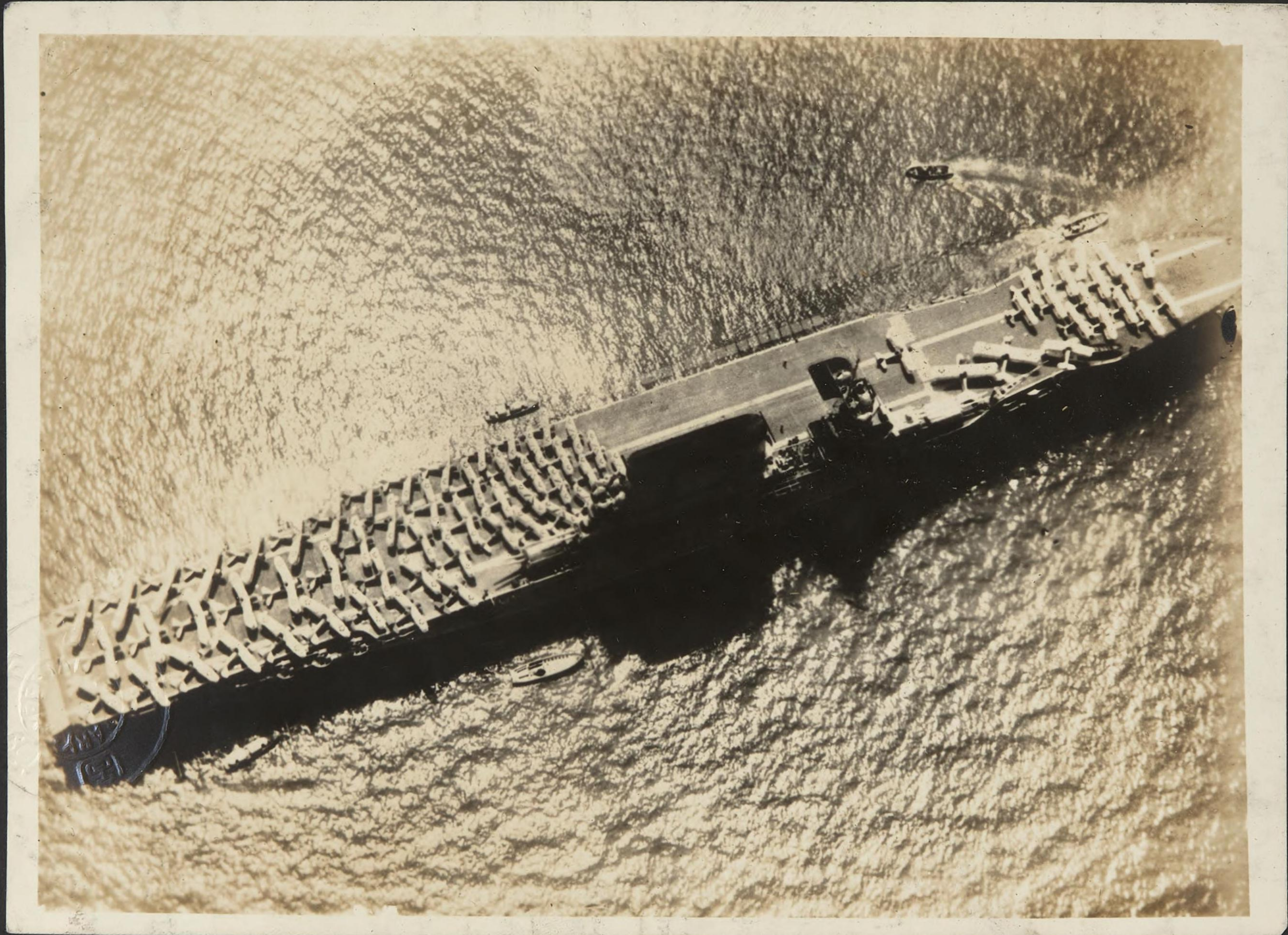
九月八日

◎「レキシントン」號

（サンフランシスコ・カリフォルニア）發聯合 米國海軍の誇り「レキシントン」號の威容です、百數十臺の飛行機を搭載して移動する此の「海上飛行場」こそ國際政局不安の時代と云はれる現代に於て有力なる支柱であらう

X X







聯合 寫眞 第二號 九月八日

◎照宮さま御歸京

一兩内親王様は再び葉山へ

七月廿日以來葉山御用邸に御滞在の照宮成子内親王殿下には來る十一日から女子學習院二期始業につき八日藤井御養育掛長、野口事官塘御養育掛御供申上げ午後二時三十五分同御用邸御出門、同四十九分逗子驛御發車、三時四十八分東京驛御着電車にて御歸京五十日振りて吳竹寮に御歸還あらせられた、又那須御用邸に御滞在中の孝宮、順宮兩内親王殿下には來る十一日同用邸より再び葉山御用邸に成らせられ本月下旬天皇皇后兩陛下還御遊ばされるまで御滞在の御豫定と承る

寫眞は

一御歸京の照宮様







聯合 寫眞 第一號 八年九月九日

◎ 國防自動車獻納會解式

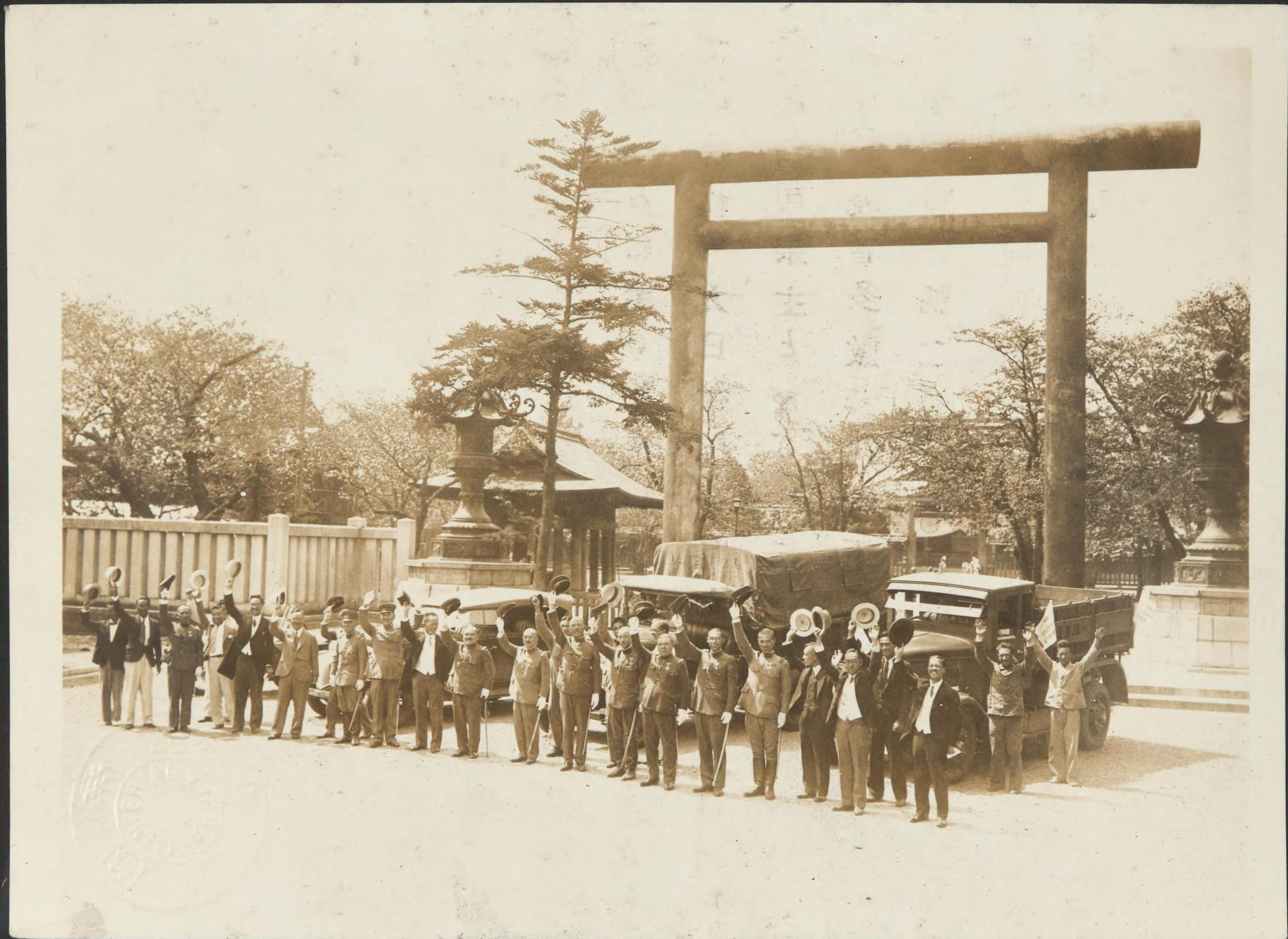
堀内文次郎中將を會長として昨年八月一日發會式を擧げた國防自動車獻納會は爾來國民各方面の後援により僅か一年の間に戰車、裝甲車第十三號、六輪乃至二輪自動車で第四十一號を迎へるに至り豫期以上の目的を達成したので秋晴れの九日午前十時から靖國神社境内で賀茂宮司祭主となり會員、在郷軍人會其他各團體代表者多數參列の下に同會最後の奉仕たる愛國臺灣號二臺、愛國朝鮮號一臺、愛國衆誠號一臺計四臺の獻納奉告式を行ひ續いて同會の解散式を舉行した

寫眞は

一、國防自動車獻納會解式

敬







聯合 寫眞 第二號 九月九日

◎國旗記念日設定

一芝區の國旗掲揚式

國旗記念日奉讃會では兼ねてから國旗記念日の制定のないのを遺憾としこの設定につき奔走中であつたがこの程陸軍關係其他名士の資同を得、明治五年九月九日東京横濱間の鐵道開通式に沿道各戸に始めて日の丸の國旗を掲揚した因縁により九月九日を同記念日と決定地元の芝區新橋青年會では九日午前十時から汐留驛前廣場で太田青年會長指揮の下に陸軍關係在郷軍人、小學生數百名參列の下に大國旗の掲揚式を行つた

寫眞は

一、國旗掲揚式全景







聯合 寫眞 第三號 八年九月十日

◎秩父宮同妃兩展御巡覽

秩父宮同妃兩殿下には、秋晴れの十日午前九時小林武官其他御供申上げて、上野美術館に成らせられ院展及構造社展を御巡覽遊ばされた、院展では横山大觀、木村武山兩畫伯が御説明申上げ日本畫を約一時間に涉つて御觀賞次いで藤井浩所氏の御説明で彫刻を御覽、御少憩の<sup>后</sup>構同館内構造社展覽會場に進ませられ齋藤素巖氏より御説明を聽召され隈なく御覽の上正午近く御歸還あらせられた  
寫眞は

構造社を御巡覽の兩殿下







聯合寫眞 第三號 八年九月十日

◎日本固有の游泳を擁護する

―第六回全日本游泳大會

日本游泳聯盟主催の第六回全日本游泳大會第二日は十日午前九時より神宮プールに於て開催、各種競泳の後日本固有の游泳による各流の妙技公開に移つた

寫眞は

- 一、山の内流の令旗泳者進藤哲一海中の戦闘に味方の進退掛引を號令するための令旗
- 大さ疊四枚敷一（上）
- 一、小堀流の甲冑御前游、泳者、小野金雄一
- 踏水術の妙技一







聯合寫眞 第一一五號 九月十一日

◎五〇一五海軍側論告の日

―詳細記事参照―

一 開門を待つ傍聴人

一 海軍判務所を出る護送自動車

一 峻烈な論告を下した山本檢察官

一 控室に於ける辯護人の打合（向つて右から）

特別辯護人淺木中尉、朝田大尉（二人隔て

て）高原法務局長、辯護人清瀬一郎、塚崎

直義兩氏

（以上四種は

一部地方へ第一便を以て發送致しましたから

左様御承知願ひます

一 論告を終へて（向つて右より）山岸氏の姉

三上氏の父、村山氏の姉







五、一五事件海軍側論告の日

控室に於ける衆護人の打合也







聯合 寫眞 第二九七五號 八年九月十二日

◎佛の兩鳥人が  
無着陸長距離飛行へ

(パリ)發聯合 フランス飛行界の新人ルネ・  
ルフェヴル、ジャン・アラソン兩氏は先程コ  
ドス、ロツシー兩氏に依つて樹立されたニユ  
ーヨーク、シリア間の無着陸長距離飛行記録  
を破るべく愛機「アントアンヌ・バイラール」  
號(イヌバノ・スイザ六百五十馬力裝備)の  
性能試験を着々進めて居るが未だ何時何の方  
而へ飛行するか決定されて居ないが或ひは我  
國へ飛來するのではないかと推定されてゐる  
寫眞は 愛機「アントアンヌ・バイラール」  
號の前に立てるルフェーブル氏(左)  
とアラソン氏(右)







聯合 寫眞 第三號 九月十二日

◎日本語の達者な外國武官

ロジャース大佐著任

駐日米國大使館附武官ジョンソン大佐は近日  
轉任歸國することになり後任としてロジャ  
ース大佐が著任したので兩武官は十二日午前九  
時半海軍省に出頭、大臣、次官、軍令部次長  
等に挨拶した。新任のロジャース大佐は日露  
戦争直後日本語研究生として日本に派遣され  
たことがある。今度二度目の著任で日本語の  
出来る外國武官は同氏が始めてである。

寫眞は

一、ロジャース大佐夫妻（帝國ホテルにて）







聯合 海外寫眞ニテリス

第二九七七

二九七八號

九月十三日

◎タンネンベルグ會戰記念祭  
「主人公ヒ大統領も臨席

〔タンネンベルグ―東プロシヤ〕發聯合 去  
る八月廿七日は現大統領フオン・ロヒンデン  
ブルグ元帥が世界大戰中東部戰線司令官として  
美事ロシアの侵入軍を粉碎したタンネンベル  
グ會戰記念日なので當日はフオン・ロヒンデン  
ブルグ大統領、ヒットラー首相始め多數知名  
人士の參列裡に盛大な記念祭をタンネンベル  
グ記念碑前にて行ふと共に參列の約三千萬の  
ナチス黨員に依るビッグ・パレードが行はれ  
た

寫眞は參列の〔左から〕ヒットラー首相、

フオン・ロヒンデンブルグ元帥、ゲーリン

グプロシヤ州首相とナチス黨員の示威行

進







聯合 寫眞 第一號 九月十三日

◎乃木神社例祭

乃木將軍が明治大帝の神去りませし御後を慕ひて御大喪當日赤坂の自邸に自刃してより二十二年、十三日はその命日に相當するので午前八時より赤坂の舊邸乃木神社に例祭を取行つた、親族玉木中佐外長谷川榮作、御堀大佐其他の參拜に引續き小學生等多數參拜、所澤町小學生より成る乃木會員一行二十八名は神前に武術を奉納した

寫眞は

一少年乃木會員の奉納武術







聯合 寫真 第一號 八年九月十四日

◎外務大臣親任式

廣田前駐露大使後任

内田外相は今回種々の事情により辭任すること  
に決意し首相に辭表を提出したので首相は  
十四日午前八時十分廣田前駐露大使を首相官  
邸に招き外相就任を交遊した處承諾したので  
首相は午前十一時官邸を出發自動車で葉山御  
用邸に伺候、天皇陛下に拜謁仰付られ内田外  
相の辭表及其の後任に廣田氏を内奏御裁可を  
仰ぎたる結果午后親任式を行はせられた

寫眞は

一、葉山御候の對外相廣田氏(左側)  
一、廣田氏の廣田家(向う)左側(右側)  
一、夫人(右側)子(左側)伊佐子(右側)  
一、記者團(右側)内田氏の對外相(左側)  
(記者)







喜望の廣田家







◎アジャに黎明訪れて一周年  
一歡び滿つる滿洲國公使館

十五日は亞細亞に黎明の訪れた日、わが國が列國に魁けて敢然新興滿洲國を承認議定書に調印した一周年記念日である。麻布櫻田町の滿洲國公使館は歡喜に滿ちて正門に交叉した日滿大國旗は微雨の中に舞へる、この日はまた奇しくも初代駐滿大使武藤元帥の五十日祭に當るので丁士源公使は午前九時元帥邸に赴いて燒香歸途は中野の邸に廣田新外相を訪問挨拶を述べて歸館、同十時には麻布區内九小學校の生徒代表十九名が手に手に日滿兩國旗を携へ羽生區長並に校長に引卒されて公使館に祝辭を述べ午後零時半からは齋藤首相以下各閣僚、陸海軍將星を招いて祝賀午餐會を催した、寫眞は

一 小學生の祝賀に應へる丁公使

一 祝賀午餐會（向つて左から）前列（座せる方）平沼男、齋藤首相、倉富樞府議長、山本内相、安達總裁、林式部長官、後列、鈴木總裁、後藤農相、南大將、安保大將、植田參謀次長、丁公使、永井拓相、趙總長







聯合 寫真 第五號 八年九月十五日

◎三宮殿下院展御巡覽

朝香宮、同妃兩殿下には十五日午前九時院  
へお成り、木村武山、藤井浩祐兩氏の御案内  
の下に御巡覽、十時廿分御歸還あらせられた  
がつゞいて東伏見宮妃殿下も東伏見伯と御同  
道。九時半お成り、院展では齋藤隆三、平柳  
田中兩氏、つゞいて青龍社では川端龍子氏の  
御案内の下に御巡覽、十一時半御歸還遊ばさ  
れた寫眞は

一、院展へ御成りの東伏見宮殿下（右）東伏見  
伯（左）







聯合 寫眞 第一號 九月十五日

◎外務大臣事務引つぎ

内田、廣田新舊外務大臣は十五日午前九時二十五分天臣室で事務引継ぎを行つた後前外相から新外相を次官參與官各局部長に紹介した後階下高等官食堂に一同る集めて兩氏の挨拶あり終つて廣田新大臣は初の閣議に臨んだ  
寫眞は

一、外相事務引継ぎ一向つて左から一廣田新  
外相、内田前外相







聯合 寫眞 第一號 八年九月十六日

◎愛郷塾の實地檢證

五・一五事件民間側公判開廷を前にして神垣  
裁判長八木田、長野兩陪席判事、堀田、同井  
兩書記、木内、石井兩檢事、田中書記及び在  
京茨城法曹團の關係辯護士十四名は十六日午  
前九時半から一時間半に亘つて水戸市常盤野  
愛郷塾の實地檢證を行ひ、宿塾頭の兄宿鐵太郎  
同徳次郎兩名が塾の各部屋、良園牧場、動力  
農具作業室に亘つて案内し、徳次郎氏が宿塾頭  
の農業經營の根本精神に付て雄辯に説明し終  
つて教室で塾で出來た甘藷、梨、牛乳等を塾  
生がサーヴイスした。同日午后は血盟國事件  
の本據となつた大洗の護國堂の檢證を行ひ十  
七日は土浦町の紫山塾山水園を檢證の筈であ  
る

寫眞は

(神垣次郎氏)

一、實地檢證の二、神垣裁判長、△何徳次郎氏







聯合 寫眞 第一號

九月十七日

◎博文寺本尊佛開眼式

日鮮融和の大道場として故伊藤博文公に緣故  
ある官民有志の發起で、昨年十月京城に落成  
を見た曹洞宗春嶽山博文寺に納められる本尊  
佛は、通般來斯界の釋威高村光雲翁が製作中  
であつたが、此程漸く等身大に及ぶ釋迦如來  
像を完成、十七日午前十時より伊藤公記念會  
主催で上野松坂屋で開眼供養を行つた

寫眞は、完成した如來像と參列の高村光雲  
今井田朝鮮政務總監、兒玉秀雄伯







聯合 寫眞 第二號

九月十七日

◎在郷海軍班東郷元帥訪問

新潟縣中越地方海軍出身者で組織されて居る東郷元帥謝恩會員一行三十一名は黃海記念日に當る十七日午前五時三十五分上野着東郷元帥邸に赴き大平團長一行を代表して元帥の健康の祝辭を述べ退席した







◎秋空穩かに平和の兆

滿洲事變二周年記念日

九段靖國神社では午前十時から帝國在郷軍人會以下九團體の主催の下に滿洲事變二周年記念陣及者慰靈祭を行つた。全國各地から上京した遺族一千に近く各皇族の御代理を初め齋藤首相、荒木陸相、大角海相以下閣僚、丁滿洲國公使、奈良、鈴木、内山各大將等朝野陸海將星以下遺族、一般參拜者に居並び盛會裡に正午式を閉じた寫眞は

一 荒木陸相の軍串供進

一 在京部隊參拜

一 丁公使と傷痍軍人の握手







滿洲事變二週年記念日

荒木陸相の玉串供進







聯合

寫眞 第一一四號

九月十九日

◎五・一五事件陸軍側判決

緊張の法廷、泰然たる被告

昭和維新樹立を目指し革新運動の捨石を以て自ら任じた五・一五事件陸軍側被告後藤映範等十一名に對する判決言渡しは海軍側の論告に對する驚々たる論難や全國的滅刑嘆願の嵐の中に、十九日午前十時赤坂區青山第一師團軍法會議法廷に於て海軍及び民間側に魁けて行はれた。この日西村裁判長をはじめ各判士は午前七時半心身を淨め打揃つて明治神宮に參拜法廷に臨む、十時開廷、裁判長西村が磨中佐は直ちに各被告の起立を命じ指名點呼をなした後嚴肅に判決を言渡した

寫眞は、明治神宮參拜（向つて左より）西村判士長、島田法務官、平川、川島、横田、谷の各判士（上）御手洗所の西村判士長、一、斷罪直後の法廷（向つて左から）匂坂檢察官、川島、島田、西村判士長、平川、横田の諸氏、机上に堆きは歎願書、傍聽人（お聞き）の一部地方へは一便及び電送寫眞で發送致しました。







五、一五事件陸軍側判決

傍聽人







聯合 寫眞 第一號 八年九月二十日

◎米穀生産統制聯合會

米穀生産統制に關する農林、拓務兩省、朝鮮  
臺灣兩總督府の聯合協議會は二十日午前十時  
半開會、農林省から後藤農相、織田、石黒兩  
次官、荷見米穀部長、長瀬農務局長、拓務省  
から堤、河田兩次官、北島殖産局長、朝鮮總  
督府から今井田政務總監、渡邊農林局長、臺  
灣總督府から中瀬殖産局長出席、先づ後藤農  
相の挨拶あり次に荷見米穀部長より穀貯藏奨  
勵試案要綱に就き詳細なる説明があつた

寫眞は

一、米穀統制聯合會







聯合 寫眞 第二十三號 九月 二十日

◎世界に誇る感光劑の發明

一 理化學研究所の一學者が

十數年に亘る苦心研究によつて世界に誇るべき乾板感光劑の畫期的發明が完成された。この發明者は理化學研究所員櫻井秀雄氏で大正九年京都高等工藝を卒業後間もなく今日まで研究を續けて來たのであるが氏の發明の誇るべき點は從來の各感光劑を適當に調合して感色性を増加せしめ各自自然色の特色を完全に現出せしめる點でこれによつて汎色寫眞でも映し出す事の出來なかつた綠色の感じをも出し煙や霧の外にある物體をもかなり鮮明に寫出する事が可能となつた。氏の發明によつて更に一段の研究が促がされれば煙幕の下にある物をも感光出來る様になり科學戰時代に於て地理學上、軍事上にも感光劑の役割が一層重大視される事は想像に難くない。

寫眞は

一 研究室に於ける發明者櫻井秀雄氏







聯合 海外寫眞 ニュース

第二九八九號

二九九〇號

九月廿一日

◎獨逸の防空演習

（ベルリンを聯合）國際政局の不安からか期せずして洋の東西を問はず競争的な空の。陸の。海の大演習が各國に於て行はれてゐる。寫眞は去る八月二十七日伯林に於て行はれた防空演習で

- 一、獨逸帝國防空團に依つて市内の目抜き街、ルストロベツセル廣場に市民への警告のため立てられた眞物の爆弾と
- 二、ポツダム廣場の避難地下室







Blank yellowish paper strip with faint blue markings.

Faint circular stamp or mark.







聯合 海外寫眞 第三九九四號 九月廿二日

◎國民化されてゆく

米國のインフレ運動

(サンフランシスコ發聯合)世界問題の最重要問題として、非常な期待をかけられて居る三十三億ドル(正價換算六十六億圓)を中心とする産業復興法案の具体化運動たるN・R・A(國民復興局)の青鷲運動は漸く全国的に普及され種々な催しものとして行はれる様になつて來た

成並ん

寫眞は去る九月四日サンフランシスコ高等學校の生徒二千人に依つて作られた米國産業復興運動のシンボル、青鷲マーク

海外字を具三ノス、米國一ノトシ巡洋艦  
ミネアポリス号、十八日米田艦とある  
十三日米田艦の記録に付て、訂正一ノス  
高海外三ノスは、二十三日、二十四日付け休む







◎「何れがワシか」  
達摩を貰つた達摩さん

二十二日の閣議散會後齋藤首相は總理室に高橋藏相を呼び入れた、何事か重大要件かと見れば卓上には身丈二尺八寸自然木の藏相が莞爾として居る、「ホホー、何れがワシかな」と眞物の達摩さん、この贈物を首相から頂いて大ニコニコで官邸へ持ち込ませた、これは三重縣津の篠森胸次郎氏が首相を通じて達摩藏相へ贈つたもので外宮御造營用材の不用部分で造つたものであると

寫眞は

一、達摩と達摩さん







聯合 寫眞ニュース

八年九月二十四日

◎キリン夫妻命名式

上野動物園のキリン夫妻日本名命名式はきの  
ふ同園内キリン小屋で盛大に行はれた

寫眞は

一、及川道子嬢から餌をもらふキリン夫妻







聯合 寫眞 第一號 八年九月二十四日

◎秩父宮杯爭奪レガッタ

日本漕艇協會主催インターカレッジ競漕選手  
權關東豫選第二日は廿四日午前十時廿分言問  
―水神間二千米コースに於いて行はれた

寫眞は

一、汽艇に召されてレース台覽の秩父宮、同  
妃兩殿下







聯合 寫真 第一號 八年九月廿五日

◎第一回交通審議會總會

1 諮問案第一號を上程審議

第一回交通審議會總會は廿五日午前十時より首相官邸に於て開會、會長齋藤首相、委員たる高橋大藏、山本内務、荒木陸軍、大角海軍、南遞信、三土鐵道、永井拓務各大臣、民間側委員片岡直温、井上匠四郎子、山本~~久~~太郎諸氏、堀切内閣書記官長、黑崎法制局長官、七省次官出席、一諮問第一號吉會線による日滿交通路開通に伴ひ日滿間交通路整備の方策如何を上程、齋藤首相より一場の挨拶ありたる後慎重に審議を進め正午散會

寫真は

一向つて左から會長齋藤首相、片岡、井上山本、南（後向き）高橋、山本内相、荒木、永井の諸氏







◎ チャーリー・チャップリン  
のヨット遊び

(アバロヘカルフォルニア、カタリナアイラ  
ンドー發聯合

喜劇王チャーリー・チャップリンは聖林からア  
バロンに來りヨット遊びを楽しんだ

寫眞中央チャップリンその右映畫製作者ジョ  
セフ・スケンク氏